

2020 年度あいち・ウーマノミクス研究会 女性雇用促進グループ会議  
女性活躍促進に向けた各社の取組について

会社名	大同特殊鋼株式会社		
従業員数(うち女性の数)	3,579 人 ( 347 人)		※2020 年 4 月時点
女性従業員数の推移(直近 3 年間の推移)	335 人(19 年 4 月)	317 人(18 年 4 月)	300 人(17 年 4 月)

## 1 女性活躍推進法に基づく取組等について

女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の計画期間	2016 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 3 日		
女性の活躍促進に向けた目標(上記の目標)・現状値	目標 女性採用比率に目標を設定する 事務系 17.7%→25% 技術系 1.4%→5%	現状値(嘱託・パート・中途採用含む) 2019 年 3 月時点  事務系 32.6% 技術系 3.7%	
女性の活躍促進に向けた取組(上記の目標に向けた現在の取組)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術系職 応募する女性学生を対象として工場見学会の継続</li> <li>・事務系職 大学生を対象としたインターンシップ(長期・短期)の継続 工場見学会の開催 素材業界セミナー、社員座談会 グループ会社との合同セミナー開催</li> </ul>		
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術系…工場見学会の実施による、就業イメージのアンマッチ抑制と採用率の維持継続</li> <li>・事務系…企業イメージの向上、顔合わせ機会増による応募数増と採用率の維持継続</li> </ul>		

## 2. 新たな取組や力を入れている取組、PR 事項等について

2020 年度に新たに実施した取組や力を入れている取組、PR 事項等	<p>事務系スタッフ 採用活動；活躍社員の傾向確認やダイレクトリクルーティング等を活用した採用活動を開始 定着支援；キャリア形成支援策の 1 つとして、 総合職女性スタッフ【(入社 10 年未満)の座談会(web)を実施予定</p>
------------------------------------	--

## 3 コロナ禍を受けて取り組んだ(強化した)取組や PR 事項、取組によって見えた課題等について

コロナを受けて取り組んだ(強化した)取組や PR 事項、課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅勤務の社内制度化(I T 機器拡充)・出勤率管理・マイカー出勤、時差出勤の推奨、フレックス最大活用・会議方法・頻度の見直し・WEB 会議促進(ZOOM、テレビ会議)・サテライトオフィスの整備・フリーアドレスの試行、昇格要件研修の web 化準備(2021 年～)</li> </ul>
---------------------------------	--

※2,3 に関する力を入れている取組や PR したい事項が分かる資料(A4 サイズ・1 枚程度)をご提出ください。本紙及び提出いただいた資料は、県ホームページにて公表いたします。

大同特殊鋼株式会社

## 2. 新たな取組や力を入れている取組、PR 事項等について

採用活動；活躍社員の傾向確認やダイレクトリクルーティング等を活用した採用を実施

項目	詳細
採用活動	活躍社員の傾向確認や offerBOX 等を活用した採用活動の開始
メリット	特殊鋼業界及び当社の認知度向上、 採用アンマッチ（初任配属は現場に近い部門からスタート）の抑制
定着支援	総合職女性スタッフ(入社 10 年未満)の座談会(web)を実施予定
メリット	将来への不安の払拭・定着率の向上・キャリア形成に伴う課題抽出

## 3. コロナ禍を受けて取り組んだ（強化した）取組や PR 事項、取組によって見えた課題等について

コロナ禍においては、柔軟な働き方の選択肢を増やすことに注力した。

今後、これらの運用が定着すれば新しい働き方に繋がっていくものとする。

項目	詳細
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅勤務（I T 機器拡充）</li> <li>・出社率管理</li> <li>・マイカー出勤、時差出勤の推奨、フレックス最大活用</li> <li>・会議方法・頻度の見直し</li> <li>・WEB 会議促進（ZOOM、テレビ会議）</li> <li>・サテライトオフィスの整備（継続中）</li> <li>・フリーアドレスの試行</li> <li>・昇格要件研修の web 化（2021 年度～）</li> </ul>
メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤時間の削減によりワークライフバランスがとりやすくなった</li> <li>・業務の効率化（業務の棚卸し、方法の見直し等）が図られた</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術系 工場の生産ラインにおける職場感染対策</li> <li>・事務系 ペーパー系、承認印、帳票類といった作業標準の変更</li> <li>・コミュニケーションの難化（方法の変更、ツールの活用等）</li> </ul>